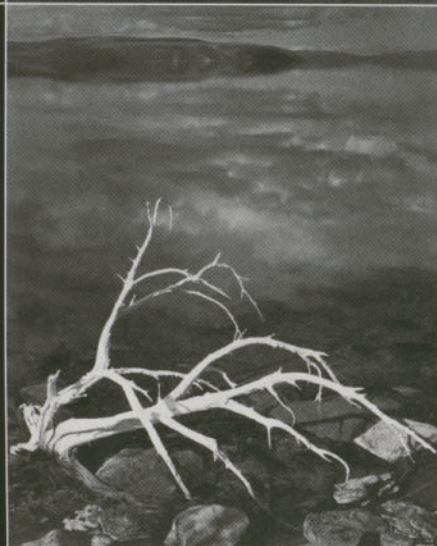


Ansel Adams

京セラ美術館第7回特別展



アンセル・アダムス、アメリカ大自然を撮る

—京都国立近代美術館ギルバート・コレクションより—

2008年10月24日(金)～12月3日(水)

開館時間：午前10時～午後5時 休館日：日曜日(土曜日、祝日は開館)

※10月24日のみ10時30分開館



京セラ美術館

THE KYOCERA MUSEUM OF ART

入館無料

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 京セラ本社ビル1階
TEL:075-604-3500(代表)
<http://www.kyocera.co.jp/museum.html>

- ①近鉄京都線または地下鉄烏丸線「竹田駅」北西口よりバスで「ハルスプラザ前」下車(所要時間約5分)
- ②近鉄京都線「伏見駅」より徒歩で約10分
- ③京阪「中書島駅」よりバスで「ハルスプラザ前」下車(所要時間約10分)

主催：京セラ株式会社、京都国立近代美術館

後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都経済同友会、京都新聞社、KBS京都

Ansel Adams 京セラ美術館第7回特別展

アンセル・アダムス、アメリカ大自然を撮る

—京都国立近代美術館ギルバート・コレクションより—

本展では京都国立近代美術館が所蔵するギルバート・コレクションより、アメリカの風景写真の巨匠であるアンセル・アダムス(1902-1984)の写真作品をご覧ください。

このギルバート・コレクションは1986年10月に、京セラ株式会社とその創業者である稲盛和夫会長(当時)が、米国シカゴ在住の高名な写真所蔵家アーノルド・ギルバート氏が収集された貴重な写真コレクション1,050点の散逸を防ぐために一括購入、京都国立近代美術館に寄贈したことに由来します。この寄贈は、長期的な展望に立った調査・研究、コレクションの形成という美術館活動の本質的な部分を支援することにより、美術館が精神的に豊かな社会をつくるための重要な基盤として成長し発展して行くことを願って行われたものでした。企業の文化貢献といえば個別の展覧会を支援することが一般的であった当時、幸いにもこの活動は企業メセナの新しい形として各方面から注目され、各種メディアにも大きく取りあげられました。ギルバート・コレクションを核として順調に成長した京都国立近代美術館の写真コレクションは、いまや内外の現代美術作品をも含む強力なものとなり、世界各地で行われる展覧会の支援や研究のために幅広く活用されています。

このように当社にとって大変ゆかりの深い京都国立近代美術館のギルバート・コレクション、その中でも最も重要な位置を占めるアンセル・アダムスの代表的写真作品をこの京セラ美術館に展示し、多くの皆様にご覧いただく機会を持てることは、当社にとって大きな誇りであり喜びであります。

アンセル・アダムスは、ヨセミテ渓谷やカリフォルニアの風景を撮影したモノクロの写真作品により、20世紀アメリカを代表する写真家として世界中の人々に知られています。彼は14歳の時に初めて訪れたヨセミテ渓谷で靈感を得て、その後、生涯にわたって米国の国立公園などの雄大な自然の姿や息吹が感じられる写真を撮り続けました。絵画とは異なる写真固有の表現を追求して生み出された美しい写真作品は、きわめて高い印画のクオリティを持つと同時に、オリジナリティに満ちたイメージと構図を兼ね備え、その優れた芸術性により現在でも高く評価されています。



Gilbert Collection ギルバート・コレクションについて

アメリカのシカゴ在住の写真家であったアーノルド・ギルバート(1921-2004)夫妻が約20年間に収集した写真コレクションは、19世紀末から現代に至る約130名の写真家の作品1,050点からなり、近代写真史を通史的に辿ることができる内容となっています。なかでも最大の特徴は、アンセル・アダムス、エドワード・ウェストンなど1930年代~50年代の近代写真の巨匠たちによる充実した作品群にあり、ギルバート夫妻と親しく交流したこれらの写真家たち自身が手がけ厳選した質の高いオリジナル・プリントが数多く含まれています。

京セラ美術館
THE KYOCERA MUSEUM OF ART

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6
京セラ本社ビル1階
TEL:075-604-3500(代表)

作品タイトル 表面 左列上:ジェフリーの松、左列中:トム山の日の出
左列下:白い枝、右列上:白い切株、右列下:ハーフトーム
裏面 左:自画像、中:アスベンス、右:尖塔形の崖

本展に出品される写真作品はすべて京都国立近代美術館の所蔵であり、1986年に著作権者と美術館が交わした展示・印刷に関する契約条件を満たしています。
©Courtesy of the Trustees of the Ansel Adams Publishing Rights Trust
All Rights Reserved.